

office  
6-1-5 Kishi-machi, Urawa-ku, Saitama-city,  
Saitama-pref, JAPAN, 〒330-0064  
TEL/FAX : 048-(823)-8366  
E-mail : jimukyoku@jantiochm1977.net  
http://jantiochm1977.net/  
postal transfer : 00170-4-10379



事務局  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 6-1-5  
TEL/FAX : 048-(823)-8366  
E-mail : jimukyoku@jantiochm1977.net  
http://jantiochm1977.net/  
郵便振替 00170-4-10379

## アンテオケ宣教会ニュース第 233 号をお送りします

主の御名を賛美します。

いつもアンテオケ宣教会のためにお祈りを感謝いたします。各国によってコロナの状況は違いますが、それぞれの宣教師たちは遣わされた地で、状況は厳しくとも前進を続けております。皆さまの変わらないお祈りとお支えを心から感謝しております。

さて、アンテオケ宣教会は、2つの新企画をスタートさせております。

### ① 「じゃむちゃんアンテオケ」

毎週火曜日、You Tube で短い宣教に関するメッセージ動画を配信しています。検索くださり、ぜひご登録ください。

### ② 「世界を結ぶ宣教祈禱会」 = 「<sup>ゆいき</sup>結祈」@Zoom 毎月第3火曜日夜7時半～8時半

現地の宣教師からのレポート、近況、祈りの課題などをお聞きして、参加者たちと世界宣教祈禱会を持っています。お申込みは、①お名前 ②教会名 ③Zoomに登録しているメールアドレスを jamchan2021@gmail.com までお送りください。後ほど ID とパスワードをお知らせいたします。

また、引き続き「全国どこでも出張」の継続もしておりますので、ぜひお申込みください。交通費、謝礼は必要ありません。オンライン形式でもお引き受けいたします。事務局にご希望日をお申込みください。

皆さまに主の守りと豊かな祝福が与えられますように、心からお祈り申し上げます。

2021年3月恵日  
アンテオケ宣教会  
事務局長 高山嘉津子

\*\*\*\*\*  
同封の郵便振込用紙は、献金を要求するものではなく、献金によって支えて下さる方々の利便のためです。  
ご理解くださいますよう、お願いいたします。  
郵便振替の送金手数料が高くなりましたので、手数料無料のゆうちょダイレクトからの送金も賜っておりますので、よろしくお願いいたします。



アンテオケ  
宣教会  
NEWSJAMI  
Japan Antioch Mission  
アンテオケ宣教会Japan Antioch Mission News  
*Go into all the world and preach the good news to all creation.*

## 「神と傷む世界との狭間で」

アンテオケ宣教会総主事 大田裕作

アンテオケ宣教会が主からどんな役割を気づかっているのか思い巡らしていると、表題の言葉が響いてきました。教会は天地の造り主と被造世界の中に置かれています。何としてでも失われた世界を御手に抱きたいとする神様と、その愛に背を向け続ける世界との間で、教会にはその橋渡しの使命が委ねられています。その教会が十全に使命を全うするために、触媒の役割を担うのが宣教会だと教えられています。

世界は傷んでいます。強国の指導者たちは露骨に覇権を主張し、途上国を飲み込んでいこうとする姿は弱肉強食そのものです。被造物、自然界も呻いています。科学者や環境保護団体が声を上げ英知を結集しても、もう歯止めの効かないところに来ているような気がします。2050年を目標に定めた我が国の法案がどこまで地球温暖化の軽減に益するのでしょうか？

アンテオケ宣教会は神様の愛が世界の痛みと必要の場所に届くよう、諸教会に仕えてまいります。宣教地の必要を皆様方にお伝えし、宣教師を積極的に募集します。宣教の志のある候補者との出会いを求めその準備を助けます。また宣教に参画することを願う教会と支援（祈り）を必要とする宣教師また候補者を結び合わせます。また日本のクリスチャン企業や起業家と現地の教会を結び合わせて、現地の雇用や人材育成に貢献できる道を模索していきます。さらには世界各地にある日本語集会の牧会者を求める声も紹介してまいります。

宣教のことを広く紹介するために、「じゃむちゃん」をオンラインで始めました。毎週火曜に更新される数分間のプログラムです。また世界に遣わされています宣教師方を結んで祈るプログラム「結祈」も始まりました。毎月第3火曜の夜7時半からです。どちらも広く公開しています。ぜひ一度お試しください。宣教の輪が広がり、日本の諸教会がいろんな形で宣教に参加し、世界中の必要と傷みに出会っていただけますように。私たちの国が世界を福音で祝福し仕える国となりますように。2021年度もご一緒に前進させてください。





## リバイバルの条件を思う

在原繁・津紀子

アルゼンチン

「力の限り見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。」(箴言4章23節)

宣教という霊的な戦いには絶えず「勇気」が求められます。これは体験から言えることで、この考えは宣教33年目の今も変わりません。臆しては一步も進むことが出来ないからです。では「勇気」はどこから来るのか。それは「その夜、主がパウロのそばに立って『勇気を出しなさい…と言われた。』(使徒行伝23章11節)と聖書にある通り、霊的な力であることが分かります。さらに、目の前に広がる宣教地が実は神様に導かれ、かつ神様から委ねられたと自覚する時、「責任感」がやってきます。この責任感も「勇気」に燃やされる要因となります。

では「リバイバル」とは心の内に燃える勇気や努力によって始まるのでしょうか。決してそうではありません。「リバイバル

は聖霊の訪れによって始まる、炎と油注ぎを伴った御業」であり、予期せぬ時に突然与えられるものなのです。私たちが体験したリバイバルは、すべて人間の計画を超越した不思議ばかりでした。では「御霊」なる方はどんな条件で、どこから御業を始められるのでしょうか。昨年一年間、聖書全体を読むことでその答えは得られました。それは、1) 聖なる心 2) 愛の心 3) 砕かれた心、を持つ。4) 互いに愛し合い、心一つにして祈るということ。「わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」(ヨハネ4章14節)今年も「いのちの水」が湧き上がるよう、自分の「心」を力の限り見守りたいと思います。

昨年、奥地に於ける宣教活動は、コロナ感染で大幅に制限されました。焦りもありましたが、主は「勇気を出しなさい」というみ言葉をもって、教会と私たちを励まして下さいました。逆風下、主のご臨在と油注ぎによって、諸集会は守られ燃やされました。恵みにより、10月に7名、クリスマスの12月25日にも8名の方々が洗礼を受けました。失業、休職、移転という荒波に翻弄されながらも、モンテカルロ教会は御霊に励まされていることをお伝えします。ご支援に感謝しつつ。(繁)



## キリスト者は世に祝福を流す器

井野葉由美

ドイツ

皆様、心と身体の健康は守られていますでしょうか。私が遣わされているドイツでは、昨年春のロックダウン時には会堂での礼拝も禁じられていたのですが、「こういう時だからこそ、心のよりどころが必要」という声が挙がり、この冬のロックダウンでは学校もオンライン授業になる中、礼拝だけは会堂で集まることが許可されています。ハンブルグ日本語教会も衛生基準を順守しつつ、会堂での礼拝を続けています。クリスマスには、25日の朝に人数を制限して礼拝を持ったところ、教会外から2家族が参加して下さいました。「どこにも行くことができないので、教会が開いていて良かったです」と言われました。コンタクトが制限され、人との交わりが分断されている現状は大きな試みだと感じています。多くの集会在オンラインで行われるようになり、場所を超えての交わりが与えられていることは祝

福ですが、同じ空間に集まる時に働く御霊の臨在は何にも代えがたいものがあると感じます。だから「オンラインだけで十分」と流れて行かないように注意する必要があると思います。

「来てください」というのが難しい現状なので「出て行きたい」という思いが強くなり、週1~2回のペースで、宣教に重荷のあるドイツ人クリスチャンたちと一緒に路傍伝道しています。ドイツには移民がたくさん来ていますので、各国語のトラクトを用意して、居ながらにして世界宣教しているような感じですね。ムスリムの方と話すチャンスも多いです。祈りを必要としている人に導かれることもあり、その時はその場で祈らせてもらっています。御言葉が語られる時に神が臨在され、祈りを通して聖霊が働かれるのを感じます。この神のわざに参加できるのはとても大きな祝福です。伝道が許されている今の時を大切にしたいと思います。キリスト者は世に祝福を流す器ですから、皆さんも主に大いに用いられてください。「わたしたちは、わたしを遣わされた方のわざを、昼のうちに行わなければなりません。だれも働くことができない夜が来ます。」(ヨハネ9:4)

## 慰めの器



安川圭吾・美穂

タンザニア

毎回奉仕の報告が多いので、今回は個人的な感謝をシェアします。私は宣教師になる前、7年間ほどCSの奉仕をしていました。子供は大好きなのですが、ほとんどの子供が3歳から4歳ぐらいになると突然私を怖がりだし、それが1年間ほど続きます。お母さんたちは、「男の人を見ると、恥ずかしがるんです」と言ってくれるのですが、他の兄弟たちは怖がりません。私だけがダメなのです。つい最近まではキムが私の顔を見る度に顔を引きつらせてギャン泣きでした。ようやくキムの拒絶が終わったかと思うと、今度は3歳になったミレヤが、お母さんの後ろに隠れて私を避けるようになりました。私の顔が怖いのか、それとも大声で悪霊を追い出しているのを見て怖い人と思われているのか。

しかし、そんな私のことを皆が嫉妬するほどに慕ってくれる

子供がいます。9歳のアルジュンは生まれた時から障害を負っていて、体を自由に動かすことが出来ません。言葉も2歳児ぐらいの表現力です。しかしそのような不自由さなどもせず、豊かに喜びを表してくれます。日曜日に私に会うと満面の笑みを見せてくれ、チュッチュッと口を鳴らして投げキッスを送ってくれます。メッセージの時は前の座席の人に遮られて私の姿が見えないと寂しい表情をするので、一番前の席に座るようになりました。アルジュンが病気の時に、御言葉を読んで癒しのために祈るビデオを撮影してお母さんに送ったのですが、一日に何度もそのビデオを見たいと要求するので、新しいビデオを定期的に送って欲しいとお願いされています。以前は、礼拝に来たり来なかったりだったお母さんも、アルジュンのお陰で毎週欠かさず礼拝に出席するようになり、目に見えて信仰が成長してきています。

牧師の仕事は孤独なことが多いです。結果がなかなか見えなくて自分を責めたり、良かれと思ってやったことが誤解されてつまづかれてしまったり。しかし、あわれみ深い主はどの教会にも必ず牧師を励ますための慰めの器を置いて下さっているようです。主よ、アルジュンを送って下さって感謝します。(圭吾)

## アンテオケ宣教会会計報告

一般(事務局) 会計収支 (2020年10月1日～12月31日)

取入科目	金額	支出科目	金額
一般 献金	1,154,457	通信費	90,740
宣教師・国内スタッフ献金	300,000	出張費	185,688
アンテオケ分担金	390,000	交通費	44,940
		事務費	4,083
		ニュース関係費	128,494
		IT関係費	38,500
		事務所他借料	270,000
		スタッフ援助費	690,000
		光熱水費	16,605
		備品費	21,060
		慶弔費	10,000
		接待費	34,618
		業務委託費	20,000
		セミナー関係費	151,460
		雑費	10,137
前月繰越	2,437,570	次月繰越	2,565,702
収入合計	4,282,027	支出合計	4,282,027

## 献金芳名リスト (敬称略・順不同) 計184件

### 教会及び団体

旭川めぐみ アルゼンチン宣教を支える会(2) 一麦東京 井野師を支える会(3) 宇井師を支える会(3) 江藤みかを支える会 大磯キリスト(3) 大阪みなとコミュニティチャペル 大野キリスト(3) 沖繩コースユニティ 桶川聖書 貝塚聖書 片柳福音自由(4) カナプレイズチャーチ 可児福音教会(3) 亀有教会 鹿本キリスト 川口中央(3) 北見めぐみ 久遠キリスト 草津キリスト 高知ペンテコステ 郡山キリスト(3) 御殿場純福音 堺福音 堺福音東京チャペル宣教部(2) 札幌福音館(2) 佐山師を支える会(3) さんだグレイスチャペル(株) サンビルダー 十字架福音 十字屋平蔵薬局 ジョイ建築設計事務所 西武柳沢 高石聖書 高島チャペル(12) 高松シオン(6) 垂水(3) タンザニアミッション(3) 千代田福音 土崎グローリア 東京若枝(3) 戸田福音自由 名古屋一麦(3) 21世紀キリスト(2) 日本イエス教団事務所(3) 林師を支える会(3) ビサイドチャーチ東京(4) 平塚福音 本郷台(3) 前橋キリスト マネジメメントスタッフ まんでがんバイブル 未伝地ミッションを支える会(3) みどり野 南仙台 宮崎北(3) 三輪師を支える会 モンゴルミッションジャパン(3) 八尾福音北九州チャペル 大和カルバリ(3) 横浜金沢文庫

### 個人

新井健児 稲垣緋紗子 井野葉由美(3) 井原敬二 岩田新 内間清晴 内山義彦・和子 大矢一英 甲斐博(3) 川崎豊信・綾子 栗山伸子 小林宮子 佐分利純子 小路伸夫 白川賢治 高井ヘラー由紀(3) 高橋央也・恵 高山嘉津子(3) 竹内優香 千金町子 坪内貴代子 中西聖 猶原順子 西井順子 長谷かをる 服部守一 馬場喜久美 林正敏 樋口能久 星出卓也・薫(2) 前田秀文・庸子 松崎ひかり 丸山和子 三浦岸雄(3) 宮坂玲子 武藤元康 森勇喜 森田益兆 矢崎弘志 山崎恵子 山田初子(2) 匿名(5)

## 事務局便り

● ジャカルタJCFでは、二〇二三年八月からの新規専任牧師を求めて祈り始めています。

● 「じゃむちゃんアンテオケ」でYouTubeを検索していただくと、アンテオケ宣教会の動画配信が出てきます。正式スタートは四月ですが、すでにトライアルとして始めています。オンライン祈禱会も始まっています。どうぞご覧ください、ご参加ください。

● 「全国どこでも出張」は、コロナ禍ではありますが、継続しています。謝礼、交通費なしでお伺いさせていただきます。どうぞお申し込み、お問い合わせください。お問い合わせの際、三つほどのご希望日をお知らせください。

### 『事務局スタッフからひとこと』

● 「世界を結ぶ宣教祈禱会」、親しみやすく、「結祈・ゆいき」として、昨年クリスマスにスタートしました。コロナ禍で一年前には考えもしなかったオンライン祈禱会を、海外と日本全国を結んで開けるとは！事務局もこの新しいテクノロジーについていくのが大変ですが、頑張っています。ぜひご参加ください。篤い祈りが捧げられています。(高山)

● コロナに翻弄された一年が過ぎ、早くも年度末を迎えようとしています。まだまだ終わりが見えない中ですが、目先の困難に囚われることなく、信仰者としてその先にある希望を持ち続けたいと思います。(菅野)

● ニューノーマル時代、宣教の方策も、共有方法や継承の仕方、次々に新しくなるのでついていくのが大変…。まず自分の思い込みに気づけるよう、学びの日々です。(佐藤)



● 次号三三四号は、二〇二二年六月発行の予定です。

## ゆいき 結祈

(世界を結ぶ宣教祈禱会)

昨年12/22よりZOOMでの祈り会を始めました。第一回12/22、ドイツ、モンゴル、南アジア某国(宣教要配慮国)からの報告があり、共に祈りました。第二回1/19、韓国、タンザニア。第三回2/16、ミャンマーのクーデターのために祈りました。毎月第3火曜の夜7時半から8時半まで。新規参加者のお申込みはjamchan2021@gmail.comまで、①お名前②教会名③ZOOMに登録しているメールアドレスをお知らせください。

## 私たちも世界宣教を応援します！

世界宣教支援広告のお願い

宣教支援の広告欄を設けています。ますます緊迫する世界情勢の中、一層の献身をもって宣教に邁進していくために、従来の教会・個人よりのご支援に加えて、さらに広い範囲でのご支援をお願いする次第です。広告で支援して下さる方、事務局までご連絡ください。 総主事 大田裕作

 <p>www.sunbuilder.jp TEL. 078-231-5550</p>	 <p>株式会社 中島大祥堂 〒581-0071 大阪府八尾市北久宝寺 2-2-1 TEL 072-990-1120(代表) FAX 072-990-1121</p>
<p>十字架工房 十字架・掲示板・看板</p> <p>〒463-0036 名古屋市守山区向台1-1902 TEL: 052-799-9141 FAX: 052-799-9081 E-mail: kumazawa@k-p-n.jp</p>	<p>VIP関西センター テナント募集</p> <p>所在: 大阪市中央区北浜2-3-10 (大阪証券取引所南西向かい側) (アクセス: 地下鉄北浜駅2番出口の正面 徒歩0分) 電話06-6232-1185 担当: 梅津</p>



## デジも、アナも、日にも、蒙にも

高橋真一・千恵美  
モンゴル

日本ベース・モンゴル宣教のスタイルに導かれて4年目。昨年から続く状況の中でいまだ、渡航再開の目途の立たないモンゴルへの道です。今回は、日本での感謝の証詞をピックアップしてみます。

●ネットによるミニストリーの感謝。\*新年の礼拝もZoomで捧げ、お互いの挨拶をしました。\*医療現場で休日ままたまらないメンバーも、リモート礼拝で恵みにあずかる感謝。\*遠くに引っ越したメンバーがリモートでまた繋がる。\*ご高齢メンバーは「Youtubeは聖書を開くのが遅い私も一時停止したり、聞き逃したら何度も聞いたり、素晴らしいです」と喜びの感想。\*平日夜のバイブルスタディは出席できなかった人も、ネット参加で出席者UP。\*入院中の人もリモート礼拝。\*伝道礼拝の配信は200アクセスを超えた。さらに計画中。\*モンゴルに

礼拝メッセージを日本から配信。\*日本の礼拝をモンゴルでも、イギリスでも視聴して下さっている。\*先日は、分身の術のような奉仕に感謝。動画の私は東京でメッセージ、同時にリアルの私は大阪で別の奉仕。

●トラクト配布伝道に導かれた感謝。\*リアクション多数。今までにない反応に驚き隠せず。アナログの力も再確認。\*1名の方が教会に足を運ばれ決心に導かれた。\*もうおひとりも、自ら住所もお名前も名乗って下さりお電話くださった。トラクト配布翌日にこのような反応は初めて。\*玄関先で手渡ししても「デザインかわいい〜」などの好反応にびっくり。拒否され続けてきた過去が癒される(笑) \*背後に祈りがある事、御霊ご自身がお働き下さっていること実感。\*地元で暮らすメンバーの証詞を掲載し、オリジナルのデザインにした事も初挑戦で感謝。\*春にもトラクト配布伝道に期待。ネットに疲れた人や、ご高齢でネットで交わることに無縁な方にも少しでも届いた。主に栄光を帰します。イザヤ51章3節「まことに、主はシオンを慰め、そのすべての廃墟を慰めて、その荒野をエデンのようにし、その砂漠を主の園のようにする。そこには楽しみと喜びがあり、感謝と歌声がある。」(真一)



### ファミリー集合

韓国 長澤宣教師

### 路傍伝道にて

ドイツ 井野宣教師



## ちえさんの祈りコーナー

皆様のお祈りを心から感謝いたします。コロナ禍で混乱の一年が過ぎました。

この国では、ワクチン接種もすでに始まっていますが、一日も早い感染の終息を願い、コロナ後のこの国に全能の創造主なる神の栄光が現わされることを大いに期待しています。

・人々の魂に福音が届けられますように。

・コロナ禍だからこそ、みことばが光となって暗闇を打ち破る機会となりますように。

・生きて働くまことの神を人々が求め、主イエスの救いに導かれますように。

・宣教の拡大とリバイバルがこの国から始まりますように。

## みがさんの祈りコーナー

二〇二一年がスタートしました。状況は変わりませんが、イザヤ62章には主が「黙っていない」と語ってください、また私たちにも「黙り込んでほならない」と語られています。この年、主がご用意してくださった「特別なこと」に期待し、とりなしの声を上げ続けていきます。皆さまの上にも主の御力と守りをお祈りします。

・未伝部族伝道ネットワークの働き人と家族が守られ祝されますよう。

・イエス様を信じる人が少しずつ与えられています。多くの問題の中でなされた信仰告白が守られ、その純粋性が保たれ、一步一步成長できるように。

・かかわっているA族の中に霊の飢え渇きが与えられますよう。

・私の霊性が守られ、成長できますよう。



## 30年越しの父の救い

小森康三・仁美

B国

私の家族の中で、父だけは何度語ってもイエス様を信じることを拒んでいました。宣教師として仕えながらも父のことが心の痛みとしていつもあり、その救いを祈っていました。これまで一時帰国してもバタバタと飛び回ってばかりでしたが、今回コロナの影響で帰任が延びており、この期間、任地の村人たちの歩みの中で学ばされたように、直接語る前に、父にゆっくりと寄り添い仕えようと決めました。毎日のように顔を見に行き、何気ない会話をし、同じ話を何度も聞き、買い物や病院に連れて行き…。でも振り返るとこの時間は父を導くためではなく、日頃は遠くにいて年老いた両親のために何もしてやれない私に、憐れみ深い神様が与えてくださった特別な恵みだったと思われています。

少し前から先祖代々のお墓のことを話す中で、11月には父と

二人でお寺に赴き、墓じまいをすることもできました。その時、普段は自分のことを語らない父が、今まで誰にも言わなかったという祖父から負わされていた言葉などを、涙ながらに私に話してくれました。堅い心の壁が崩れたのを感じた時でした。

その後、康三と母がコロナに罹患し、濃厚接触者である私は父とPCR検査をすることになりました。もしかしたらこれが最後になるかもしれないと、父にイエス様のことを語りました。これまで何度も拒まれてきましたが、この時父は泣きながら信じて告白し、私の後に続いてハッキリと信仰告白の祈りを捧げました。検査の結果は父も陽性で、ほどなく容態が急変し、主治医からは人工呼吸器を付けるかどうか、緩和治療に切り替えるか、選択を迫られる状況になりました。信仰告白の後だったので、召されても天国。コロナ病床なので面会はできません。しかしコロナ患者同士ということで康三と母が父の病室を訪ねることが許され、会話し、祈り、病床洗礼の時を持つことができました。奇跡の時間でした。本当に危ない時期を過ごしましたが、主はそこから回復させて下さり、父は今元気に礼拝に集っています。父の永遠が変えられたこと、宣教のための私の足場を固めて下さったこと、主に心から感謝します。(仁美)

## 岩の上に家を建てる



宇井英樹・由美

B国

昨年3月以降、新型コロナウイルス対策による外出制限があり、礼拝や週日の集まりができず、NLIFは全ての働きを現在もオンラインでしています。初めは数カ月すれば元のように活動できるだろうと思っていましたが、8月から新規感染者が急増しました。外出制限などの規制にもかかわらず、新規感染者数は減るどころかどんどん増え、感染拡大を止める有効な方策がはつきりせず、この状況は長期化すると考えるようになりました。そこで、教会の使命、牧師の役割などを一から祈り求め、学びました。国際教会としてのNLIFの特性や私自身の個性を考えながら主の導きを求めました。その模索の中から、岩の上に家を建てる弟子のグループ(LOR)が生まれました。

LORは3人から5人で構成する同性のグループで、聖書の学びやカウンセリングではなく、主の弟子としてのアカウンタビ

リティ・グループです。週に一度、一時間会って決められた聖書箇所を読み、御言葉から教えられたこと、御言葉の自分への適応、御言葉を実践する困難、また直面している罪などを分かち合い、祈り合います。現在は、規制があるためオンラインで行っていますが、少人数ですから規制が緩和されれば、実際に集まることが可能でしょう。

主は弟子たちに声をかけ、呼び集めました(マルコ1:17、ルカ6:12-13)。私も、祈りながら、この時声をかけるべき人は誰かを主に問いました。12月に数名に声をかけ、LORについて説明しました。そして1月から男性グループ1つ、女性グループ2つが始まりました。参加者の国籍は7カ国です。私は男性グループのメンバーです。由美がメンバーの女性グループは3人で、一人は昨年10月に紹介したPさんで、カンボジアから参加しています。もう一人は、2019年2月にバプテスマを受けたことを紹介した中国人のEさんです。Eさんは自分が霊的にどれほど渇いていたか、それがLORに参加してわかった。これからは主を第一に生活したい、と話していました。主がLORを用いてくださり、各参加者が、そしてNLIFが岩の上に立てられていくよう、お祈りください。(英樹)



## 祝福のスタート

賀川千世美

南アジア

皆様、年が改まり益々お元気でお過ごしのことと思います。こちらではコロナは変わらずですが、昨年末に封鎖が完全解除となり、通常の生活に戻ったかのような雰囲気の中で新年を迎えました。解除後の年末、少人数のゲストを招き、スタッフとともに遅めのクリスマス会を開きました。クリスマスのお話を初めて聞く人もいました。賛美が好評で、「もう一度賛美を歌いたい」と食事後にリクエストされました。さらに、「新年会をしよう」とゲストの方から声があがり、年が明けてから開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、スクーターで3時間もかけて参加してくれた友人もいました。しかし、田んぼのあぜ道を歩いて来る知り合いは参加できないとのこと。他の招待者は大丈夫だろうか、カフェの前をキョロキョロと見渡していますと、クリスマス会の時には来れなかったT人の学生の姿が見え

たので、声をかけるとすぐに来てくれました。彼はクリスマス直前にカフェに初めて来て、いろいろな話をしてクリスマス会に誘ったのです。在籍する学校が開校になれば戻って行く彼のが気になる、もう一度チャンスが与えられるように祈っていたのでした。ギターの生演奏、賛美やお話の後おいしい食事と楽しい時間をもちました。主が新年の始まりをこのように祝福してくださいました。2度の会で食事の用意を手伝ってくれたのは隣に住む男性。彼は普段カフェに来ては私たちにいろいろと打ち明けてくれます。彼は自分のことを同朋の間で村八分のような存在だと言います。自ら進んで僧侶になった彼は知識欲が旺盛で、僧侶をやめた後は旅をして見聞を広めました。彼のような異なる意見を持つ者は小さなコミュニティでは少数です。以前、もっと困難な状態にあった男性が2歳の子供を連れてカフェに毎日来ていましたが、カフェは彼にとってシェルターでした。隣の彼はこの男性の知り合いでした。長い間ギャンブル場に利用され、祈り続けてきたその場所に主はそんな家族を送ってくれたのでした。今年も主がカフェを祝福し用いてくださることを大いに期待し祈っていきます。



## 今が韓国教会の踏ん張り所

三輪修男・文子

韓国

日本と韓国はコロナの感染において、共に苦難を味わっている。両国政府はワクチンの手配を早急に計り、経済と生活の立て直しを計らねばならない。コロナ禍が福音伝道と教会形成に打撃を与えてしまえば、神様に申し訳ない。今こそ、韓国と日本の教会は、同じ自由主義陣営の教会として、手を携えて祈りと行動に進むべきであろう。前回も少し触れたが、韓国は日本と違い、決定が早く強制力と罰則を伴う。これは、隣国の北朝鮮と対峙している歴史が原因であろう。それゆえ、日本の対策はこんな悠長なことで大丈夫かと思うことがある。昨今、韓国では、コロナ対策を名目に、政府による教会弾圧とも思える取締りが激しさを増している。礼拝の監視、多人数の礼拝の禁止、担当牧師の逮捕・収監など、教会は政府の前に縮こまっている。これでは共產主義国と同じである。もし大きな教会が閉鎖とな

れば、派遣している宣教師の支援も、宣教もストップしなければならない。まさに迫害がヒタヒタと忍び寄っている感じである。

私たちのカペナント・ケンブリッジ日本人教会は、少人数礼拝のため、まだ警察の立ち入りは受けていない。しかし、韓国は告発・告訴の国である。訴えれば報奨金がもらえるので、誰に通告されるか分からない。当教会に国際弁護士がいるが、彼によると韓国の告訴件数は年間670万件で、日本の100万件をはるかに超え、人口比では日本の約20倍である。日本では、互いに「すみません」と言って、告訴に至らない文化があることが一因であろう。一方、救急車の出動要請も、夫婦喧嘩がその理由としてかなりあると聞いた。教会の中のある若い夫婦が、最近、離婚した。夫の失態が原因で、それを妻がSNSで撮ったのが証拠になったという。全てに証拠を出して訴える社会なのである。日本では、お皿や茶碗が飛ぶこともあるらしいが、ここではそんなことは子供のお遊びに過ぎないのかもしれない。

以上、教会成長の著しかった韓国であるが、これからは社会もクリスチャンも質的成長が問われることになるだろう。(修男)



## 一週間の間に、涙と宣教

長澤久美子

韓国

日本のお正月は過ぎましたが、韓国では旧暦の2月12日が新年ですのでご挨拶を申し上げます。新しい年2021年を迎えましたが、韓国も、日本も、そして世界中、まだコロナ禍にあります。皆さまお元気で過ごしてでしょうか？新年早々、アメリカ大統領の交代も混乱はあったものの、大事に至らず無事に済み、ホッとしています。祈られ、主のご紹介と守りがあったことと思います。

さて、1月の後半（特に1/18～25の一週間）は何ともスケジュールが重なった時でした。でも霊肉ともに主の助けにより、無事に御用を全うさせていただきました。ハレルヤ！それは4つの書き物（原稿、ZOOM等）、礼拝説教、そしてソウル地方会（バプテストの牧師たちの月例会と通訳）、さらにその間にあったお葬式でした。お葬式は遠方で、途中で友人牧師を乗

せて片道6時間の道のり、現地で2時間の滞在とまさに「体力との勝負」でした。時節柄、お花料を送って済ます人も多い中、どうしても参列しなければならず、それはDMIからフィリピンに派遣されている金ミンシン宣教師のお母様だったからです。お母様は86歳とご高齢、昨年10月に胃ガンの手術の後、転移がわかりました。金師は2月に帰国予定だったので、間に合っただけで良かったのですが、帰国後規則通り2週間の自主隔離。病院も面会禁止でようやく会えました。未信者のお母様と聞き、なんとかイエス様をお伝えするように促したものの、体力と気力は限界で、5日前からは意識もなく、親子なので何とか通じるように願いましたが、ご高齢の方への伝道は大変な仕事。でも金師は宣教師だからと期待しましたが、やはり手話だとお母様には理解できなかったようで、葬儀場には、残念ながら戒名のようなものがありました。全てを主に委ねて祈るのみでした。

皆様のご両親はイエス様を救い主として受け入れておられますか？もしもまだなら、悲しい事です！滅びから救われ、永遠の命をいただけますように。(使徒16:31～32)今日も変わらぬとりなしの祈りとお支えに心から感謝し、皆様の上に主の祝福と、あらゆる災いから守られますようお祈りします。



## 宣教14年の歩み

朴ダニエル・任妍貞

韓国

神様の恵みの中で人生を新たに、2006年に関西聖書学院を卒業して、2007年10月にアンテオケ宣教会から私の母国である韓国に派遣され、2008年のイースターにソウルで日本ビジョン教会を開拓しました。その後、宣教師養成のための献身者スクールとビジネスアカデミーを統合したJBA(Japan Business as mission Academy)を創設し、2020年には大阪ビジョン教会を開拓し、宣教センターとしてJBA HOUSEを開設しました。JBA HOUSEでは食堂と民泊の許可を得て、子ども食堂での無料給食を始めました。自分なりに最善を尽くしましたが、コロナの影響により残念な一年となりました。このような中で迎えた2021年、心新たに自分自身を見つめ、残りの人生をどう締めくくるか祈りつつ、神様の恵みを求めています。

いま、韓国ではコロナ感染の第3波のなか、教会には「非対面礼拝」が要請され、20人未満の礼拝だけが許容されており、私たちは幸い日曜礼拝を続けられています。しかし昨年、私が不在だった10ヶ月の間に来なくなった人もおり、今では半分の10人ぐらいで礼拝を捧げています。韓国の日本語教会は一般に支援基盤が弱く、経済的に脆弱です。ソウルの高い賃借料や人件費などの教会運営費捻出に苦心するところが多いのが現実です。大阪での様々な困難に対処するため、ソウルの日本ビジョン教会やJBAの責任者としての使命を果たせないまま10ヶ月が経ってしまいましたが、昨年11月17日ようやく帰国し、コロナの隔離期間である14日間の断食そして祈りを捧げ、12月1日から日本ビジョン教会での牧会とJBAの士官生徒の訓練と養成のための働きを再開しました。これからも在韓邦人宣教と日韓の教会の霊的な架け橋になるとの最初の使命を忘れずに全力を尽くしたいと思います。そして、JBAの第1期卒業生であり、JBAチーム長の、神学大学院を卒業する金ファヨン伝道師を後継者として立て、若い士官生徒を次世代の指導者として育てたいと思います。お祈りくだされば幸いです。(ダニエル)



どういうきっかけでアンテオケ宣教会の主事になられたのですか？

私のCSの先生だったアンテオケ国内主事の森敏先生から母教会の東京若枝教会の飯塚俊雄先生を通して声をかけていただきました。先生方のネパール宣教のために毎日祈っていたこともあり、40周年記念集会のお手伝いをしている中で、働きを共にしたいと願うようになりました。

アンテオケ宣教会に来られるまでにどのような働きをしておられたのですか？

日本イエス・キリスト教団で6年伝道師をしつつ、途中からKGK(キリスト者学生会)に出向して12年働きました。その後カフェ伝道のミニストリーを始め、今も続けています。

アンテオケ宣教会の事務局では主にどのような仕事をしておられるのですか？

広報を担当しています。昨年SNSやYouTubeでの配信を始めました。Zoomの操作も勉強中です。得意分野ではないので、トライ&エラーの日々です。

アンテオケ宣教会の働きを始めるようになって、特に感じていることは何ですか？

分断の時代に国や人種、部族間、性別、世代間などの壁は、それぞれの文化の違いによるものなので、異文化宣教で培われた生き方に解決の糸口があると感じています。世界宣教を共に担っていくことが諸教会の祝福、宣教の突破口になっていくと思います。

祈りの課題を教えてください。

- ① 次の世代が日本の教会が担ってきた世界宣教のスピリットを継承していけるように。
- ② あらゆる壁を打ち砕いたキリストを信じて、すべての聖徒と共に分断を繋ぎ、福音を分かち合っていけるように。
- ③ 同労者がさらに与えられるように。

#### アンテオケ・サポーターズ入会案内

・メール・葉書などで氏名・住所・電話番号・所属教会名・献金の方法(下記参照)をご記入の上、事務局にお知らせください。  
・会費(献金)送金の仕方

(1)ご自分のゆうちょ銀行口座から、郵便局ATMを利用する

アンテオケ・サポーターズのゆうちょ銀行口座(10060-67584781)に送金。一度送金先をATMで登録すれば、次回からは口座番号入力は省略できます。

(2)郵便振替口座を利用する

郵便局にある青色の郵便振替払込用紙を用い、口座名称「アンテオケ・サポーターズ」郵便振替口座番号(00120-0-728569)に送金する(手数料は自己負担になります)。

(3)ゆうちょ銀行自動払込システムに申込み、ご自分のゆうちょ銀行口座から自動引き落としで送金する。この場合は、アンテオケ宣教会専用の自動払込利用申込書に必要事項 2020年度の会計状況(2021年1月31日現在) 円額200円から任意の献金額を決めることができる。サポーターズが 一度にしていた できれば助かります。自動払込利用申込書は、メールでご連絡くだされば、pdfファイルをお送りします。

2020年度会計状況(2021年1月31日現在)

	収入	支出	2020年度収入	1,519,534
献金	1,519,100		2020年度支出	704,532
利息	434		1月31日現在残高	815,002
宣教会へ		660,000		
自払料金		15,565	前年度繰越金	3,658,201
印刷費		9,815	1月31日現在残高	815,002
通信費		19,152	次月繰越金	4,473,203
合計	1,519,534	704,532		

2020年度は、自動払い込み、総合口座、振替口座、現金でこれまで延299口の献金を受け取らせていただきました。サポーターズに加わってくださる方が少しずつ増えていることを感謝しています。今年もよろしくお願ひいたします。

#### アンテオケ・サポーターズ事務局

〒111-0056 東京都台東区小島2-19-16 FK21ビル2F 御徒町キリスト教会内

担当：武藤哲夫(御徒町キリスト教会牧師) Tel:03-3864-7551 E-mail:anteoke-support@ontheway.jp.net

# アンテオケ・サポーターズ通信

アンテオケ宣教会支援会ニュース 第4号 2021年3月

## 捧げる祝福

総主事 大田裕作



大田裕作・伯子夫妻

私の属する群れは戦後スウェーデンからの宣教の働きの実です。復興途上の日本に連れて福音を伝え、神の恵みと共に上を見上げ前進することを教えてくださいました。私は70年代半ば、21才の時に救いを得ました。献身し、牧会や宣教師経験を経たのち、宣教母国の北欧を訪ねました。印象的であったのはどんな田舎の教会を訪ねても、玄関ロビーあたりに世界地図が張られ、自国と宣教先の国とが赤い糸で結ばれていることでした。「宣教は私たちの喜びであり、世界の祝福となることが教会の存在意義です」と

語りかけるようでした。

戦後起こされた私たちの群れからは70年代半ばに一人の眼科医がバングラデッシュに赴きました。後に伝道者たちが続くことを願ってとのことでした。少しく時が経過して92年に私たち家族がインドネシアに出発しました。宣教師としてどう遣わされていくのか、支援会の立ち上げなど具体的な道筋は当時の奥山実先生や安海靖郎先生が懇切にご指導くださいました。私たちの宣教は群れの牧師方がこぞって支えてくれる中で支えられました。宣教の労苦で生み出された群れとして、その感謝を世界の宣教の畑でお返ししたいという精神でした。感謝なことには今は35教会ほどの群れですが、アンテオケ宣教会をはじめとして、様々な形で12人の宣教従事者が世界各地で仕えています。

故人となられた群れのリーダーがよく引用された表現がありました。「宣教のない教会は窓のない家のように。風も入らず光も差し込んでこない」。とかく牧会者は教会周辺の伝道に注力しがちです。もっともなことです。しかし彼は世界の必要に開かれた、自教会の発展を越えて神の国の拡大を喜ぶ群れとなるようにと模範を示した指導者でした。

皆さん、ご一緒に日本の教会が「世界がわが教区」として世界の必要に敏感に応答できるようになることを目指しませんか。もう長らく語られている閉塞状況や昨今のコロナ禍ゆえに、一層高く「目を上げて畑を見る」べきことを思うのです。視線を上げて、主のまなざしで世界を見、主の心で世界の痛みを感じて進みたいのです。

アンテオケ宣教会に限る必要はありません。教会、宣教団体が一緒に手を携え、み心に応答していきましょう。宣教は独り子を世にお与え下さった父なる神のみこころの中心です。ご一緒に邁進できることをうれしく思います。続けてお祈りください。事務局スタッフ一同を代表してお礼申し上げます。祝福を祈りつつ。

### 祈りの課題

- ・教会の最重要にして究極の存在意義は「宣教」にあることに諸教会が目覚めていくように。
- ・アンテオケ宣教会がその触媒として仕えていけますように。

アンテオケ・サポーターズ通信第4号をお届けします。

大田師が総主事に就任以来1年になります。コロナ禍のもとですが、オンライン世界宣教セミナー開催、毎月のオンライン宣教祈祷会(結祈)開催、さらに宣教師候補者の発掘など、アンテオケ宣教会が動き始めました。事務スタッフの皆さんも奮闘しています。続けてのお祈りと経済的支援をぜひお願いいたします。

アンテオケサポーターズは、この世界宣教のために日本の教会から宣教師を派遣するために立てられたアンテオケ宣教会の総主事およびスタッフを経済的に支援しようとする者たちの集まりです。サポーターズ・メンバーとなって、ぜひご協力ください。

アンテオケ・サポーターズ会長 稲垣博史

*Go into all the world  
and preach the gospel  
to everyone. Gospel of Mark 16:15*

## KBI 宣教師訓練コース

### 目的

世界宣教の達成のため、宣教の重荷を持つ個人を訓練し、その背後の教会と協力して派遣の備えをしていく。

### 受講資格

世界宣教の達成のため、異文化宣教に召命を持つキリスト者。(教職・信徒問わず)  
本校の卒・修了生と他校の卒・修了生を区別しない。  
支援者として宣教を学びたい方。

### ①宣教師訓練コース(アンテオケ宣教会公認準備コース)

### 日程

**I期** 》 2021年 9月 7日(火) ~ 9月 30日(木)  
**II期** 》 2021年 11月 9日(火) ~ 11月 18日(木)

### 会場

関西聖書学院

### 費用

全5週間:11万円 (授業料6万円、食費・寮費5万円)

### 講座内容

宣教の聖書的原則	デピュテーション
宣教の歴史	ニュースレターの制作
異文化理解	支える会・ファンドレイジング
世界宣教の実情	個人伝道
霊的戦いの実相	弟子育成と教会形成
宣教準備の進め方	チームミニストリー
健康管理	

### 講師陣

グレアム フォーセット	山本よしえ
大田裕作・伯子	平尾政信
豊村善典	高橋真一
高橋めぐみ	ジャン ドウゲン
小山大三	国内各宣教団体指導者
福野正和	

## ②カイロス(宣教総合論)集中コース

世界50カ国以上で広く実践されている宣教チャレンジコース

(聖書神学、歴史、戦略、残された働き、文化、チームワークなど全9セッション)

※上記のコースは宣教師訓練コース1期に含まれていますが、このコースのみでの受講も可能です。

日程

2021年 9月14日(火) ~ 9月18日(土) (4泊5日)

会場

関西聖書学院

費用

2万3千円(授業料1万5千円、食費・寮費8千円)

※4泊5日の場合

お申し込み・お問い合わせは関西聖書学院まで

### 関西聖書学院(KBI)

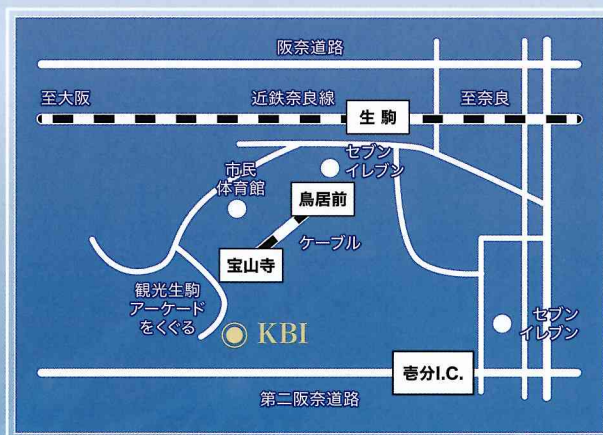
〒630-0266

奈良県生駒市門前町22-1(受付時間:火~金曜日AM8:30~PM4:00)

TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601 E-mail:kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

URL:<http://www.kbiwave.com>

### アクセス



■生駒駅まで 近鉄難波から快速特急行23分

近鉄西大寺から快速特急行10分

■生駒駅から タクシーで約5分/徒歩約30分

近鉄生駒ケーブル「宝山寺」駅下車 徒歩約5分

SNSもよろしくお願ひします



Instagram



@kbi\_jpn



Facebook



KBI 関西聖書学院で検索



Twitter



@kbi\_jpn